

2006～2007年度
調査研究関係委員会活動報告会

海洋建築委員会 報告

—「海洋建築」のさらなる伸展に向けて—

2008. 3. 19

海洋建築委員会 委員長
横内憲久

海洋建築委員会における研究等の変遷

○1975 海洋委員会創設

固定式海洋建築指針／浮遊式海洋建築指針

海洋建築計画指針／海洋建築環境指針

海洋建築用語事典 等

海中展望塔／海上ターミナル／備蓄基地 等



○2000～2004 都市機能補完型海洋建築

○2005～2006 アダプティブ海洋建築

○2007 海洋建築委員会(改称)

より建築に近く、より現実的な海洋建築を

●注目される海洋建築物

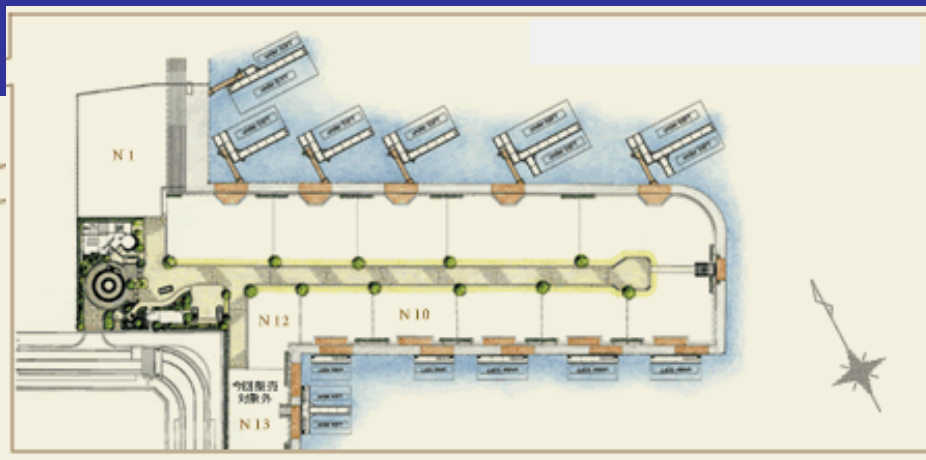


水上レストラン／Waterline(東京・品川)



シードーナッツ/水族館(佐賀) 博多マリゾン(福岡)

ベルポート芦屋



↑ 配置図

直接海に出れる
住居と係留施設→
敷地内から海上
にアクセス可能



北仲計画案



←配置図
海上に係留施設
を計画

海面からの全体パース →
水面の賑わいで他の
計画との差別化を演出





水上劇場(コペンハーゲン)



リトルベニス(ロンドン)



サウサリート(SF郊外)



2007.8 open

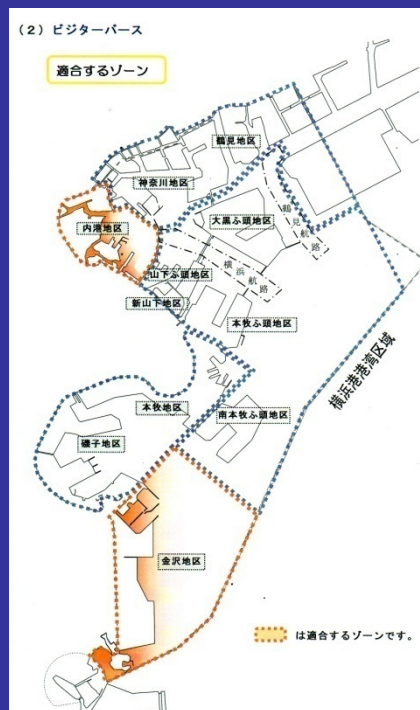
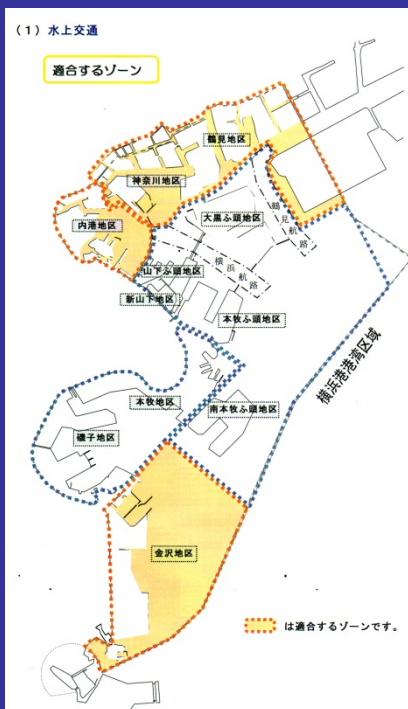
マリーナベイ フローティング スタジアム (シンガポール)
世界初、最大のスタジアム 陸側 27,000人収容のスタンド
浮体ステージ 120m × 83m × 1.2m 9,000人収容能力

●注目される海洋空間

・海洋基本法 2007年4月20日成立

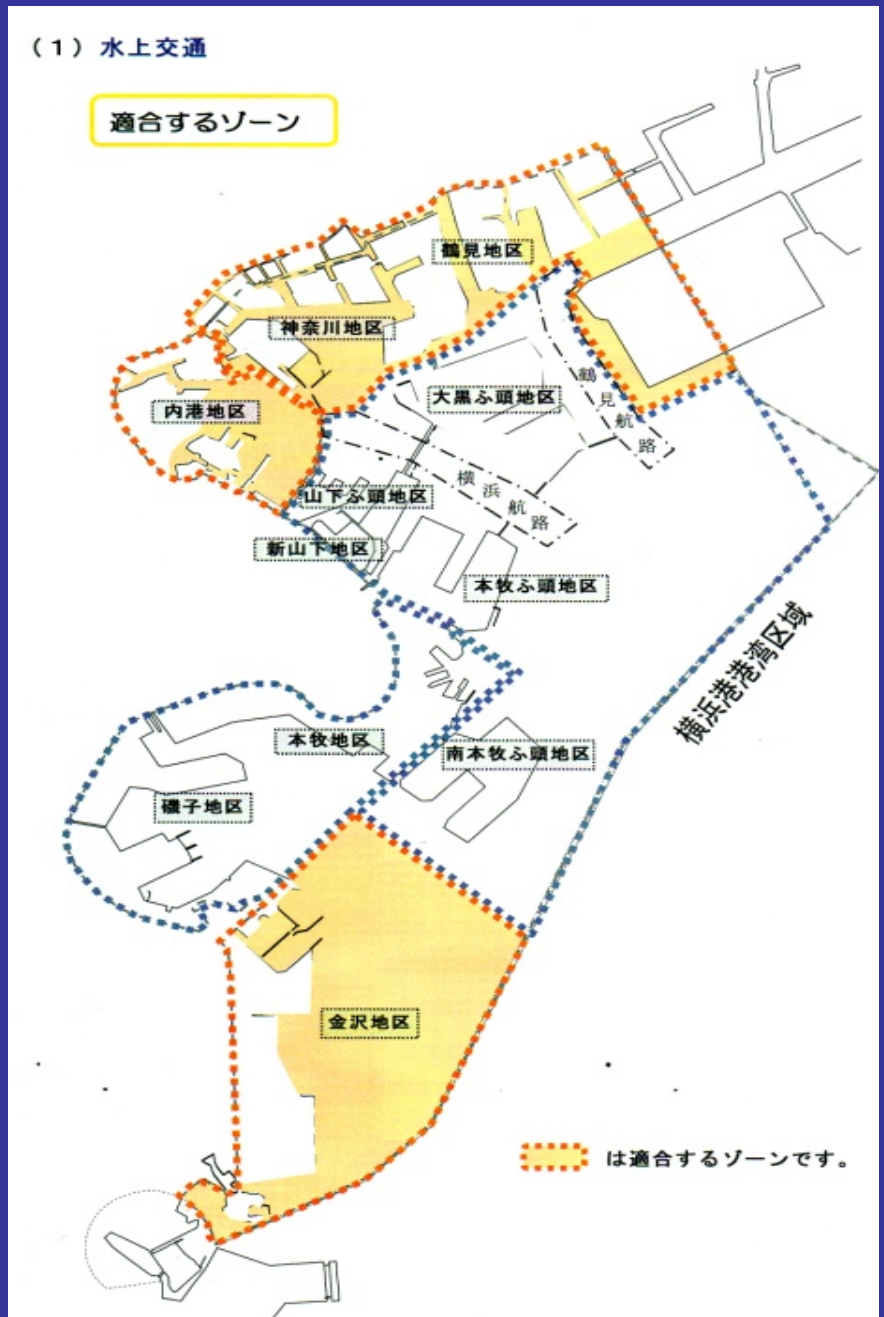
7月20日施行

・海域利用ガイドライン 横浜港 2006年4月



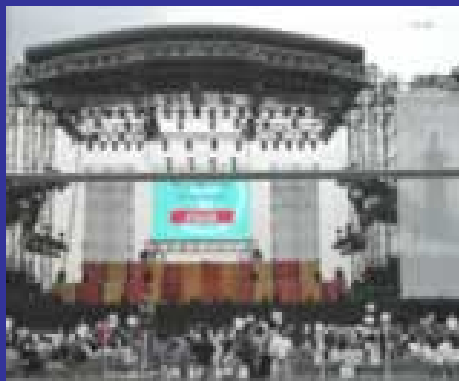
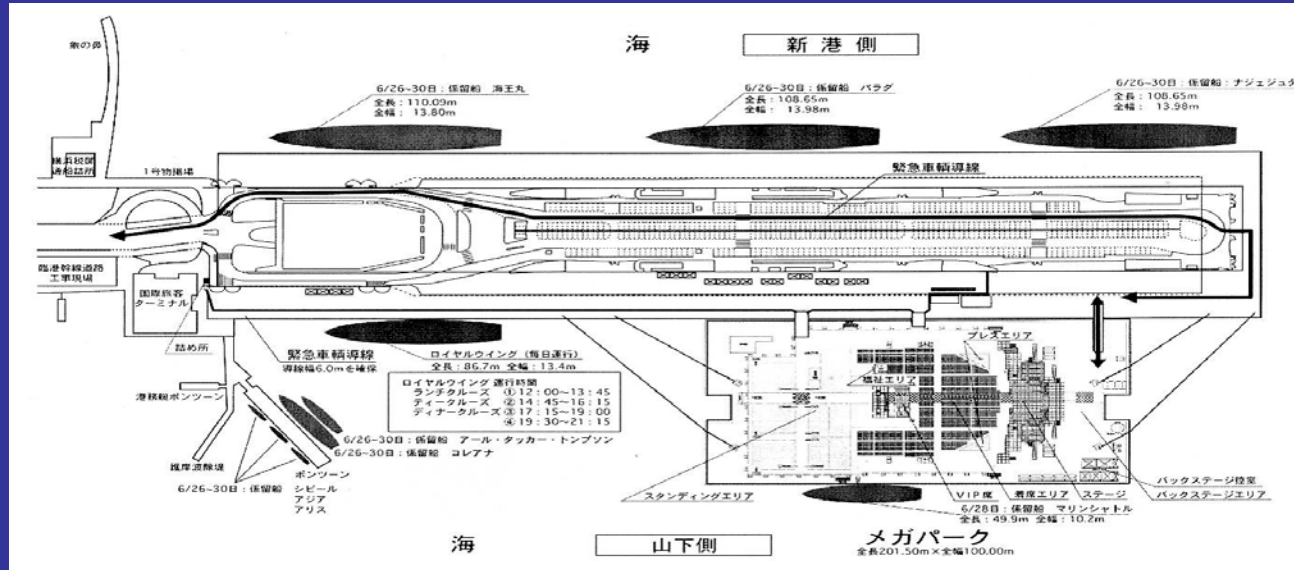
海域利用 ガイドラインの例 (横浜港)

●「水上交通」の 適合ゾーン



06 研究協議会(関東大会)

アダプティブ海洋建築＝横浜港メガパーク 「利用機能から技術を考える」



■07 研究協議会(九州大会)

「海洋建築」さらなる伸展の新たなパラダイム に向けて
ー海洋建築のマネージメントを通してー

水上レストラン



シードーナッツ



07 海洋建築委員会の構成

本委員会

21名 委員長 横内憲久 幹事 各主査

・広報ワーキンググループ

主査 藤田謙一(幹事 川上善嗣)

・海洋建築構造小委員会

主査 濱本卓司(幹事 藤田謙一)

・海洋建築デザイン小委員会

主査 居駒和樹(幹事 恵藤浩朗)

・海洋建築計画小委員会

主査 小林昭男(幹事 三溝裕之)

・海洋建築建設工法小委員会

主査 野口憲一(幹事 川上善嗣)

■07 活動状況

「海洋建築物」の認知の促進を目的

■小委員会イベント開催

- ・海洋建築構造小委員会

- ・海洋建築建設工法小委員会

「建築構造設計者から見た海洋建築物の設計と維持管理」

(07.11.20)

- ・海洋建築計画小委員会

「横浜ウォーターフロント」見学会 (07.10.28)

「海洋基本法」と建築・沿岸域セミナー (07.12.21)

- ・海洋建築デザイン小委員会

「浮遊式水上レストラン(Waterline)」見学会 (07.12.21)

■全小委員会海洋建築物データベース

「水上レストラン」見学会



会場である水上レストラン
外観



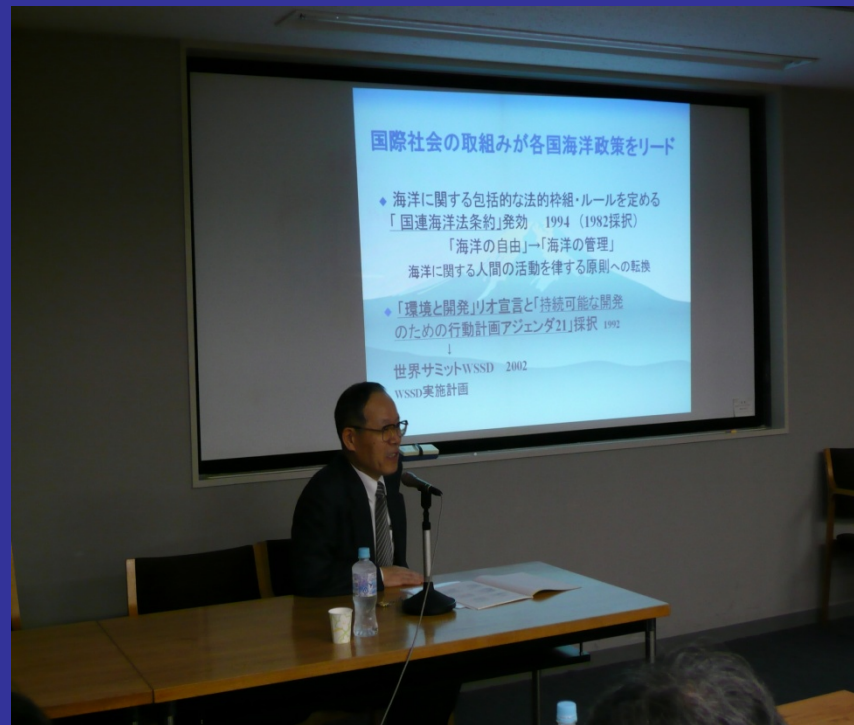
水上レストラン内での
レクチャー

「海洋基本法」と建築・沿岸域セミナー

「日本沿岸域学会」との共催にて開催



セミナーの会場



講演者のレクチャー

■08 活動予定

- ①着定型海洋建築物(海中展望塔等)の調査研究
- ②ポンツーン型海洋建築物(水上商業施設等)の調査研究

〈調査内容〉

- ・計画のコンセプトと現状の利用状況
- ・環境影響の現状と配慮の状況
- ・リスクマネジメントの内容
- ・建設に関係した法制度
- ・常時および非常時の安全管理
- ・ファイナンスの現状 ほか

- ・シーズから海洋建築を考える
- ・ニーズから海洋建築を考える
- ・経済性から海洋建築を考える
- ・法制度から海洋建築を考える
- ・
- ・

マネージメントから海洋建築を考える